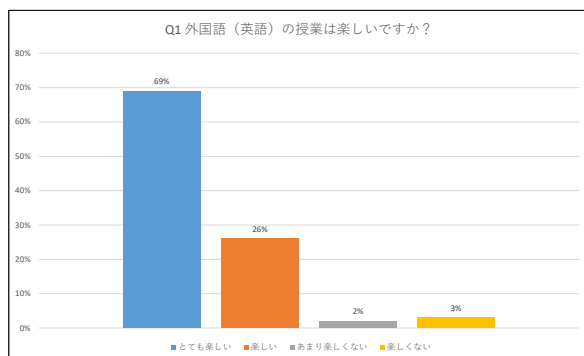
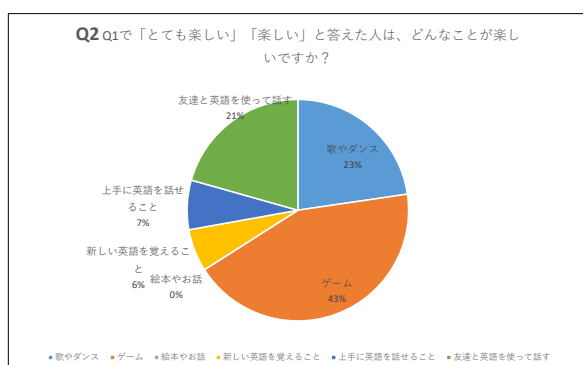


令和6年度外国語（英語）の授業に関する児童用アンケート調査結果の分析・考察（小野部田小）



【Q1について】

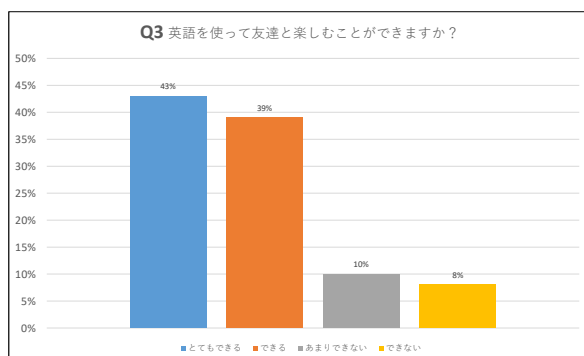
○95%の児童が外国語の授業を「楽しい」「とても楽しい」と回答しており、大変積極的に授業に参加している様子が伺える。今後もさらに意欲が高まるような活動を工夫していきたい。



【Q2について】

○体を動かしたり、相手とのコミュニケーションしたりするようなアクティブな学習形態を好む児童が多い。

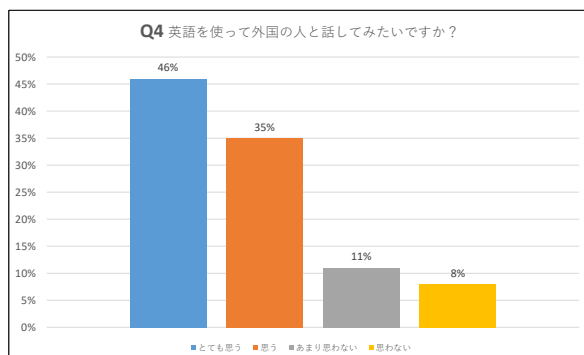
○「新しい英語を覚える」「上手に英語を話せる」楽しさが実感できるような工夫も行っていく必要がある。



【Q3について】

○80%以上の児童が友達との英語でのコミュニケーションを楽しんでいる。

○20%弱の児童が、英語でのコミュニケーション活動に苦手意識を持っている様子が伺える。スモールステップによる学習活動や認め・褒め、自信をつけさせる活動を工夫していく必要がある。



【Q4について】

○80%以上の児童が外国の人との会話をしたいと答えている。日頃のALTとの授業からそうした意欲的な思いが生まれてきているのではないかと想像できる。

○20%弱の児童が消極的な回答をしている。ALTの効果的な活用を工夫し、英語でコミュニケーションする楽しさを味わわせていきたい。

【保護者・学校関係者からの意見・要望等】

ほとんどの保護者は、外国語（英語）の授業を肯定的にとらえ、児童の将来を見据え、その大切さを認識している様子が感じられる。

授業参観時の保護者の声を聴いても意欲的に授業に参加する児童の様子を見て、外国語（英語）の授業を好意的に受け止めた声がきかれた。

【考察・今後の展望等】

担任とALTの連携を図り、児童の実態、興味関心に応じ、児童が楽しみながら外国語（英語）が身につく授業づくりを工夫していく。

授業参観で授業を公開し、保護者、地域への外国語（英語）の授業に関する理解を深めていく。